

令和3年度事業概要報告書

(一社) 宮崎県肉用牛枝肉価格安定基金協会

(1) 事業概況

令和3年度は、第9業務年間(1~3年度)の3年目として実施した。

和牛枝肉相場については、新型コロナウイルス感染拡大により外食需要の減少などの影響もあるものの、昨年から引き続き行われている国の牛肉保管支援事業や内食需要の増加、ネットショッピングの増加など消費形態の変化、牛肉輸出の回復基調もあり、一定程度の相場で推移した。

県内子牛価格については、概ね前年並みで推移したものの、肉牛生産費に占める割合は依然として大きく、一方で飼料費は、国際情勢の影響により高騰するなど、生産コストの増大が肉用牛肥育農家の経営を圧迫している。

このような中、当協会としては補てん基準価格を第1四半期2, 566円/kg、第2四半期2, 569円/kg、第3四半期2, 382円/kg、第4四半期2, 326円/kgに設定し、和牛肥育農家の経営安定を目指した結果、第1四半期1, 293頭、第2四半期1, 337頭、第3四半期1, 502頭、第4四半期1, 210頭、合計5, 342頭、総額53, 300, 000円の補てん発動を行った。

①補てん準備財産

補てん準備金前期繰越高	4,597,774 円
当期通常積立金	52,977,500 円
当期補てん金	53,300,000 円
廃業者割戻交付金	73,027 円
当期受入利息	28,014 円
補てん準備金残高	4,230,261 円

②普通財産

事業預け金	61,660,000 円
預り寄託金	61,660,000 円
前年度繰越金	1,990,437 円
当期受入利息	475,367 円
当期事業管理費	315,006 円
残高	2,150,798 円